

事業所名

横須賀市療育相談センター  
居宅訪問型児童発達支援事業所

支援プログラム

作成日

2025年

3月

13日

法人（事業所）理念		法人：「道なきところに道を」障害児・者ご家族の地域生活（暮らし）を支援するため、医療と福祉の面から明るい未来を歩むための新しい「道」を創っていきます。 事業所：1. こどもと家族の健康・安全・尊厳を重んじる療育を提供します。 2. こどもの発達と障害について理解を深め、専門性の高い療育を目指します。 3. 障害のあるこどもが安心して生活できる地域社会の発展に貢献します。		
支援方針		1. こどもへの支援 障害に配慮し、規則的な生活リズムの確立、遊びの経験と拡大、豊かな人間関係の育成を目指します。 2. 保護者への支援 支援場面を通じてこどもへの関わり方・過ごし方について確認して支援します。家族とともに考え、支援することを目指します。 3. チームアプローチと地域生活への支援 様々な職種のスタッフと連携して多角的な視点で支援します。こどもと保護者が地域生活を豊かに送れるよう、関係機関と連協・協力した支援を目指します。		
営業時間		8 時 30 分から 17 時 0 分まで	送迎実施の有無	居宅訪問型のため、なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	健康状態の維持・改善 / 生活のリズムや生活習慣の形成 / 生活の環境設定 <input type="checkbox"/> 体調やバイタルチェック等、健康状態を確認する。 <input type="checkbox"/> 基本的な生活リズムの安定に向けて支援する。 <input type="checkbox"/> 障害特性や身体状況、及び訪問時の状況を考慮し、安心して遊びを経験できるような環境設定を考える。		
	運動・感覚	姿勢と運動・動作の向上 / 感覚の活用 <input type="checkbox"/> 安楽な姿勢を保持し、リズムに合わせて楽しく身体運動を行う。関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。 <input type="checkbox"/> 五感に働きかける遊びを通して、様々な感覚を活用できるように支援する。		
	認知・行動	認知の発達と行動の習得 / 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 <input type="checkbox"/> 快刺激、楽しい活動を繰り返し経験することで、興味・関心を育て認知の形成を図る。 <input type="checkbox"/> 様々なあそびを通して、興味のあるものに触れる、視線を向けるなど身体動作を引き出す。		
	言語 コミュニケーション	言語の受容及び表出 / コミュニケーションの基礎的能力の向上 / コミュニケーション手段の選択と活用 <input type="checkbox"/> 視聴覚活動や音楽、人とのかかわりを通して、基本的な言葉の認識を図り、自発的な発声や感情の表出に向けて働きかける。 <input type="checkbox"/> 人との相互作用を通してコミュニケーション能力の向上を図り、意思決定支援を尊重した活動の提供を行う。		
	人間関係 社会性	他者との関わり（人間関係）の形成 / 他者との信頼関係の構築 / 遊びを通じた社会性の発達 <input type="checkbox"/> こどもの理解レベルや身体状況に応じた視覚的・聴覚的な工夫を取り入れた関わり方の中で、他者との新たな関係性を育むように支援する。 <input type="checkbox"/> こどもに合わせた療育を提供し、他者との楽しさの共有など社会的な関わりを支援する。		
家族支援		家族がこどもの発達への理解を深めていくために家族を交えた療育活動を行う。家族の悩みを共有しながら、適切な助言、必要な情報を提供していく。	移行支援	<input type="checkbox"/> 進路や移行先の選択について、本人や家族への相談援助を行う。 <input type="checkbox"/> 家族の希望により、子どもの状態・家族の意向について移行先と情報共有する
地域支援・地域連携		<input type="checkbox"/> 保育園・幼稚園等への巡回訪問や、障害児通所支援事業所連絡会を開催し、関係機関への支援を行う。 <input type="checkbox"/> 訪問看護師や地域の保健師等と連携して支援を行う	職員の質の向上	OJTの充実とともに、事業所全体・部署単位の研修計画をそれぞれ作成・実施し、職員の支援力の向上を図る。
主な行事等				